

課題名「C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する多施設共同観察研究」について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、消化器内科担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的・意義】

C型肝炎ウイルス(hepatitis C virus:HCV)に感染すると、長期の経過を経て肝硬変や肝がんに進展します。そのため、肝疾患の進展抑止や生命予後の改善を目的として、ウイルスを排除する治療が行われてきました。近年、HCVの複製を選択的に阻害する抗HCV薬(direct-acting antivirals:DAA)の登場により、これまで治療が困難であった代償性肝硬変の患者さんにおいても、高い治療効果が認められるようになりました。また、これまでウイルスを排除する治療を受けることができなかった非代償性肝硬変患者さんにおいても、DAA治療が承認されました。しかし、肝硬変患者さんにおいては、ウイルスが排除された後も肝硬変でない患者さんに比べて、肝がん率が高いなどの問題が存在しています。また、治療によりウイルスを排除することで、どの程度、肝臓の状態が改善するのかは明らかではありません。そこで、大阪大学を含む共同研究機関においてC型肝炎硬変に対してDAAが投与された患者さんを対象として、抗ウイルス治療の有効性、安全性、ならびに、肝がんの発生を含む予後に関連する因子について検討を行います。

【対象】

2019年2月から2021年12月までに、関西労災病院消化器内科において、C型肝炎硬変に対してDAAが開始された患者さん

【調査項目】

診療情報:年齢、性別、病歴、抗ウイルス治療前後の血液検査結果、画像検査結果、予後・転帰等

【方法・個人情報の扱い】

必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から2030年3月31日

【研究機関・組織】

研究組織代表

小玉尚宏:大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

FAX: 06-6879-3629

TEL: 06-6879-3621

【関西労災病院の研究責任者】

竹原徹郎:労働者健康安全機構 関西労災病院 消化器内科

〒660-8511 尼崎市稲葉荘 3-1-69

FAX: 06-6419-1870

TEL: 06-6416-1221

【研究事務局】

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

FAX: 06-6879-3629

TEL: 06-6879-3621